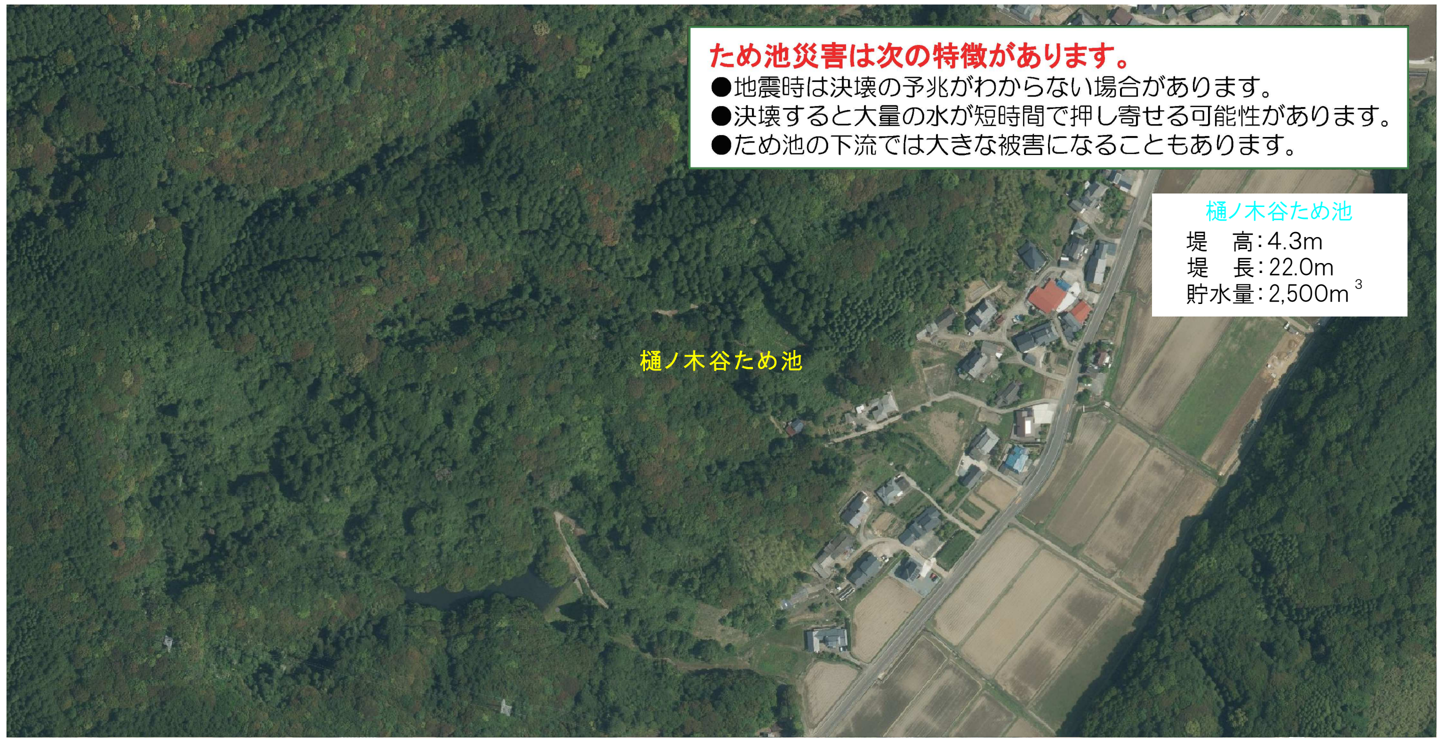
武雄市 ため池 ハザードマップ

樋ノ木谷（ひのきだに）ため池

作成：令和6年3月
（2024年）

この「ため池ハザードマップ」は、地震等により、樋ノ木谷ため池が決壊した場合に想定される浸水区域や水深、および避難に役立つ情報をとりまとめたものです。ため池が決壊するおそれがある場合または決壊した場合に、迅速かつ安全に避難するために役立ててください。

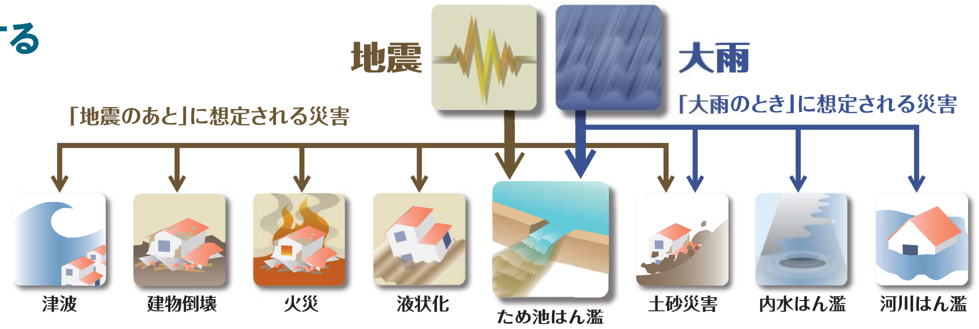


ため池災害は次の特徴があります。
- ●地震時は決壊の予兆がわからない場合があります。
- ●決壊すると大量の水が短時間で押し寄せる可能性があります。
- ●ため池の下流では大きな被害になることもあります。

樋ノ木谷ため池
堤　高：4.3m
堤　長：22.0m
貯水量：2,500m^3

▶ため池決壊と同時に発生するおそれがある災害

ため池が決壊するおそれがある状況では、周辺で様々な災害が発生していることが考えられます。
ため池決壊と同時に注意が必要です。



● 状況に応じた避難をしよう

》ため池決壊による浸水の深さを想定した避難の流れ

【マップを確認】

●想定される浸水の深さによって、避難方法は異なります。

●裏面の地図で、自分の家で想定される浸水の深さを確認し、避難の方法を考えましょう。

【浸水の深さ】【判断】【どこへ】【どうやって】

3m 以上の浸水
- ●2階以上が浸水
- ●水流が強い場合には、木造住宅が倒壊する危険がある

必ず →

浸水しない場所（避難場所、道路、空き地、高台など）

- ●安全な場所へ避難する
- ●立ち退き避難（水平避難）

→
- ●歩きやすい服装
- ●徒歩で避難
- ●お年寄りなどの避難に協力を
- ●事前に避難先を話し合う

0.5～3m 未満の浸水
- ●床上浸水
- ●1階以上が浸水
- ●強い水流の中を歩くことは危険

時間と安全な避難経路が確保されていれば → 浸水しない場所

少なくとも →

自宅の2階 危険のない近くの高い建物

- ●自宅や近くの丈夫な建物の2階以上にとどまる
- ●垂直避難

→
- ●水、食べ物、簡易トイレ、懐中電灯、ラジオ、貴重品などを2階に持って上がる
- ●近所のお年寄りもご一緒に

0.5m 未満の浸水
- ●床下浸水
- ●大人のひざ下程度
- ●浸水の深さがひざ上になると、歩行は危険

必ず →

自宅にとどまる

- ●むやみな移動はかえって危険
- ●屋内安全確保

●こんなときは避難しましょう
- ・大規模な地震が発生したら（2～3日後までは警戒が必要）
- ・集中豪雨、長雨のとき
- ・避難指示が発令されたら

● 避難に備え早めの情報収集を行いましょう

情　報　源	情報の種類	ウェブサイトアドレス
たけおポータル	県内の防災関連情報や関連サイトなど	https://www.city.takeo.lg.jp/bosai/
防災・減災さが	県内の防災関連情報や関連サイトなど	https://www.pref.saga.lg.jp/bousai/
リアルタイム川の防災情報	全国の雨量情報や水防警報など	https://www.river.go.jp/
気象庁	全国の気象情報や地震情報など	https://www.jma.go.jp/jma/index.html

● 市役所から呼びかける避難情報

武雄市役所

危険度 高

- **警戒レベル5** 既に**災害が発生**している状態です。**命を守るための最善の行動**をとりましょう。
- **警戒レベル4**（危険な場所から全員が避難） **速やかに危険な場所から、避難先へ避難しましょう。** 避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。
- **警戒レベル3**（危険な場所から高齢者など避難） **避難に時間を要する人（ご高齢の方、身体の不自由な方、乳幼児等）とその支援者**は避難しましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。
- **警戒レベル2** ハザードマップで避難行動を確認しましょう。
- **警戒レベル1** 災害への心構えを高めましょう。

気象庁より発表

危険度 低

有線放送 → 市民のみなさん
エリアメール → 市民のみなさん
広報車 → 市民のみなさん

※各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。
※危険を感じたら、これらの情報を待たずに自主避難をしてください。　※逃げ遅れによる被災が多くなっています。

● ため池ハザードマップの活用方法　（急な事態へ備えましょう）

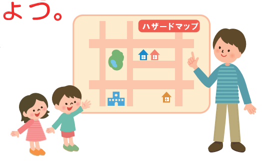
①想定される浸水区域や深さなどをチェックしましょう。

- ・危険度やはん濫水の到達時間に応じた避難を考えましょう。
- ・災害時の様々な事態をイメージしましょう。

②避難場所を決めておきましょう。

- ・危険度やはん濫水の到達時間より、どこへ避難するかを決めておきましょう。
- ・浸水深が3mを超える区域は、緊急避難できる身近な場所も探しておきましょう。
- ・家族の連絡先を確認しておきましょう。

③避難場所までの避難経路を考えましょう。



- ・避難場所まで実際に歩いて、移動時間を確認しておきましょう。
- ・避難途中で浸水した場合に緊急避難できる場所を探しておきましょう。

④日頃から家族や地域で話し合いましょう。

- ・災害時に協力し合えるよう、日頃から家族や地域で役割などを話し合いましょう。
- ・避難の際に支援が必要な要配慮者への情報伝達や補助内容を決めておきましょう。

⑤防災情報の入手先を確認しておきましょう。

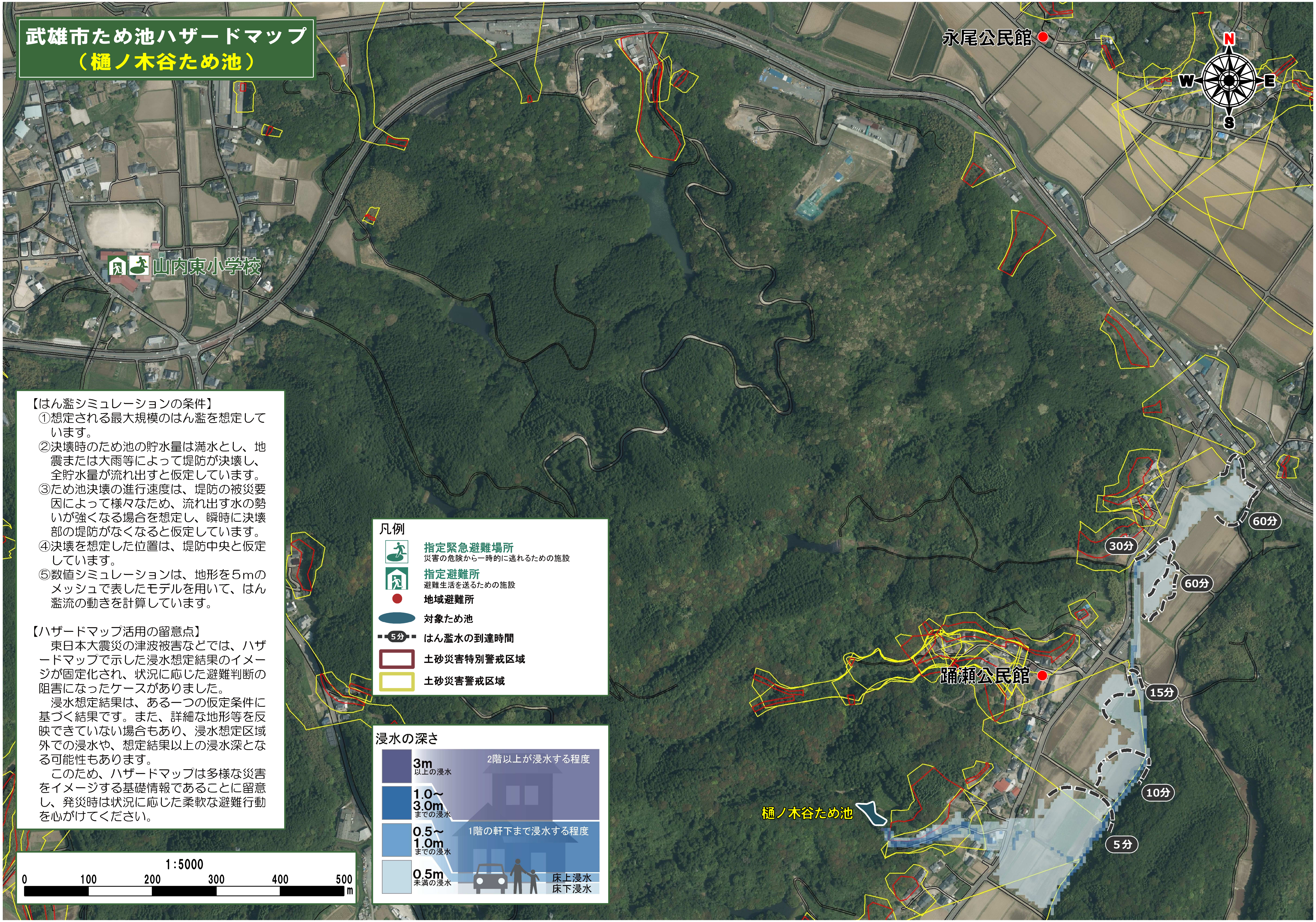
- ・ため池の堤防が被災すると、短時間で決壊に至る可能性がありますので、日頃から防災情報がどこで入手できるかを確認しておきましょう。

⑥市が公表している他のハザードマップもご覧ください。

- ・「たけおしぼうさい」には、河川のはん濫をはじめとした災害や、その他避難に関する情報を記載しています。このマップと併せて活用し、急な事態へ備えましょう。

【ため池ハザードマップに関するご意見・ご質問は】　〒843-8639　佐賀県武雄市武雄町大字昭和 12 番地 10
武雄市役所　TEL：0954-23-9335（農林課）　ホームページ　https://www.city.takeo.lg.jp/

武雄市ため池ハザードマップ
（樋ノ木谷ため池）



【はん濫シミュレーションの条件】

①想定される最大規模のはん濫を想定しています。

②決壊時のため池の貯水量は満水とし、地震または大雨等によって堤防が決壊し、全貯水量が流れ出すと仮定しています。

③ため池決壊の進行速度は、堤防の被災要因によって様々なため、流れ出す水の勢いが強くなる場合を想定し、瞬時に決壊部の堤防がなくなると仮定しています。

④決壊を想定した位置は、堤防中央と仮定しています。

⑤数値シミュレーションは、地形を５mのメッシュで表したモデルを用いて、はん濫流の動きを計算しています。

【ハザードマップ活用の留意点】

東日本大震災の津波被害などでは、ハザードマップで示した浸水想定結果のイメージが固定化され、状況に応じた避難判断の阻害になったケースがありました。

浸水想定結果は、ある一つの仮定条件に基づく結果です。また、詳細な地形等を反映できていない場合もあり、浸水想定区域外での浸水や、想定結果以上の浸水深となる可能性もあります。

このため、ハザードマップは多様な災害をイメージする基礎情報であることに留意し、発災時は状況に応じた柔軟な避難行動を心がけてください。

凡例

	指定緊急避難場所 災害の危険から一時的に逃れるための施設
	指定避難所 避難生活を送るための施設
●	地域避難所
	対象ため池
5分	はん濫水の到達時間
▭	土砂災害特別警戒区域
▭	土砂災害警戒区域

浸水の深さ

▨	3m 以上の浸水
▨	1.0～3.0m までの浸水
▨	0.5～1.0m までの浸水
▨	0.5m 未満の浸水

2階以上が浸水する程度
1階の軒下まで浸水する程度
床上浸水
床下浸水